

令和6年度 第1回 福井県渋滞対策協議会

～福井県におけるTDMの取組み～

令和6年8月

1. これまでの経緯	1
2. 実施方針、優先的に実施する市町	2
3. 重点的に実施する路線の選定	3
4. 時間分散の検討	4
5. 経路転換の検討(福井森田丸岡線(R4.10部分開通)への転換)	6
6. 今後の取組み	7

1. これまでの経緯

令和2年度第2回協議会に、越前市の小松交差点をTDM実施候補箇所として選定し、主要企業を対象としたアンケート調査やETC2.0プローブデータ分析結果をもとに、時差出勤を呼びかける方針を決定した。

しかし、調査結果の整理と企業への情報共有の実施した際に、分析結果と企業の実感が乖離していること、大手企業では既に可能な限り時差出勤を行っていることから、今後更なる協力を得られる見込みが低いことを把握した。

そこで、今年度は、一般通勤者を対象とし、時差出勤の促進等の別のTDMの方針を再検討した。

■これまでの検討経緯

○越前市内の主要渋滞箇所をTDM実施候補箇所として選定 (令和2年度第2回協議会)

- コロナ禍による緊急事態宣言下(R2.4)で、県道28号の交通量が減少し、速度向上を確認
- A社では、鯖江市に社員用の駐車場を設置し、パークアンドライドの取組みを実施していたこともあり(令和元年に実施、現在は中止)、県道28号の小松交差点やその周辺の主要渋滞箇所を対象に、企業と連携したTDMの実施を検討していくことを決定

○越前市内の主要企業を対象としたアンケート調査を実施 (令和4年度第2回、令和5年度第1回協議会)

- 越前市内での時差出勤や経路誘導対策などのTDMを検討するため、越前市内の主要な企業を対象とした通勤経路や通勤時間帯の調査(アンケート)を実施
- アンケート調査結果をもとに、TDM案として企業と連携した時差出勤の取組みを推進していくことを決定

○TDM実施に向けた調査結果の整理と企業への情報共有の実施 (令和5年度第2回協議会)

- アンケート調査結果やビッグデータ(ETC2.0プローブデータ)を用いた分析結果と時差出勤の実施により期待される効果を整理
- 企業の従業員を対象に時差出勤をPRするチラシを作成
- 時差出勤の取組みへの協力を企業へ依頼

【実施結果】分析結果と企業の実感が乖離しており、また大手企業では既に可能な限り時差出勤を行っており、協力を得られる見込みが低い状況

一般通勤者を対象とし、時差出勤の促進等の別のTDMの方針を再検討した。

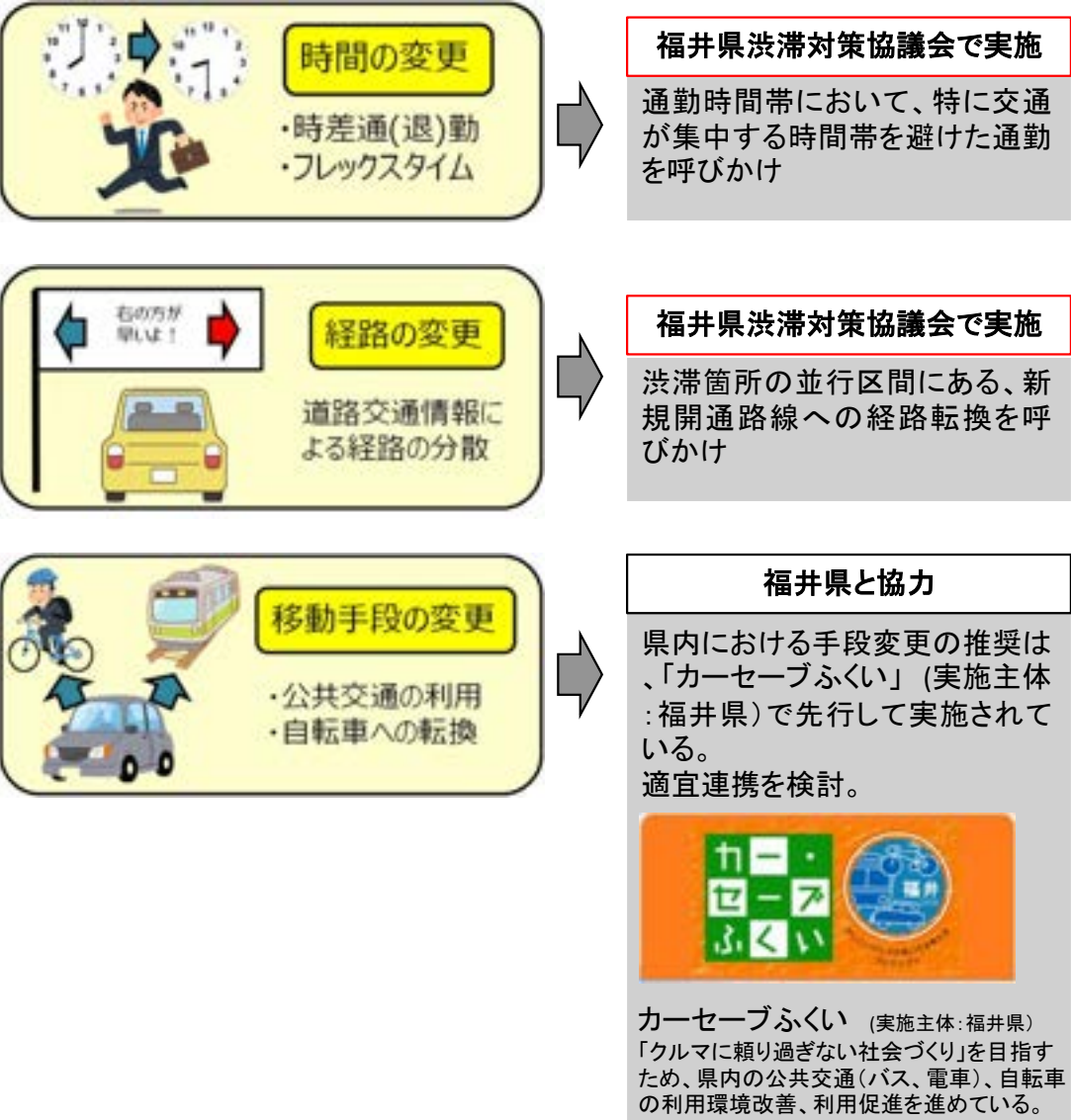
《A社におけるパークアンドライドの取組み(イメージ)》



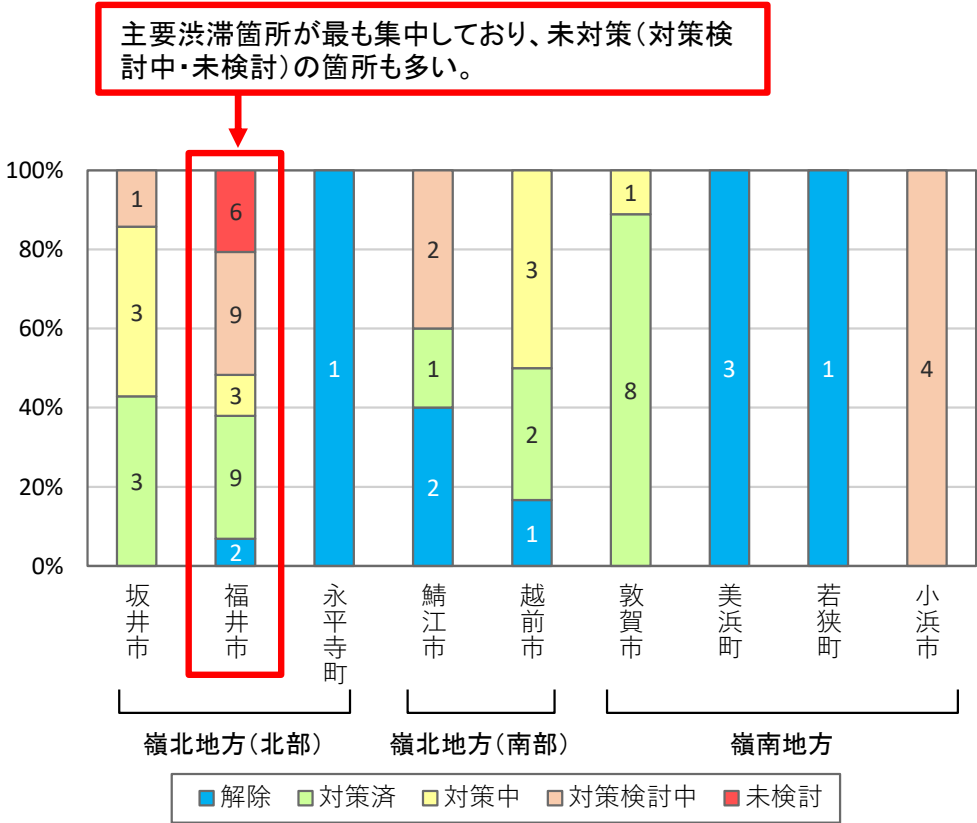
2. 実施方針、優先的に実施する市町

TDMの一般的なメニューとしては、「時間の変更」「経路の変更」「移動手段の変更」が挙げられる。
住民・従業員の実施しやすさの観点から、今年度は、「時間の変更」「経路の変更」の推奨を検討することとした。なお、「移動手段の変更」については、福井県が先行して「カーセーブふくい」の取組みを実施している。今後これらの取組みとの連携等も検討する。
福井県内の主要渋滞箇所が残っている市町を実施対象とするが、今年度は、特に主要渋滞箇所が集中して、未対策箇所(対策検討中、未検討)が多く残存している福井市を、優先実施市町として選定した。

■TDMメニュー別 実施方針



■主要渋滞箇所の対策実施状況(R6.7末時点)

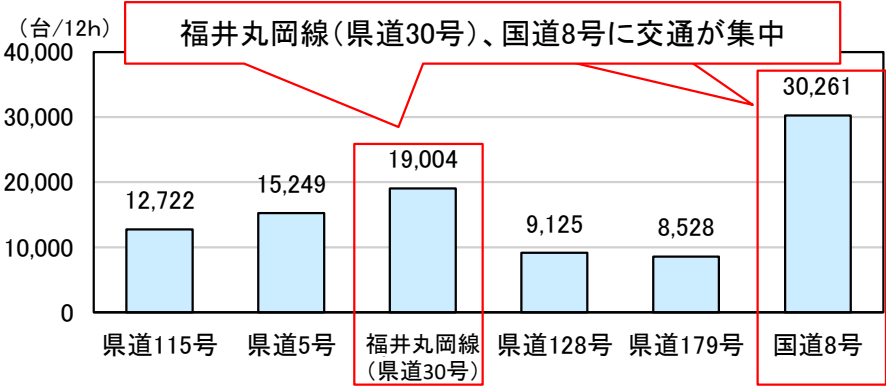


※ 解除 : 特定解除した箇所
対策済 : 対策後、モニタリングしている箇所
対策中 : 事業中の箇所
未対策(対策案有) : WG等で対策立案した箇所
対策検討中 : WG等で渋滞要因分析や対策案を検討中の箇所
未検討 : 主に机上(データ)で課題把握している箇所

3. 重点的に実施する路線の選定

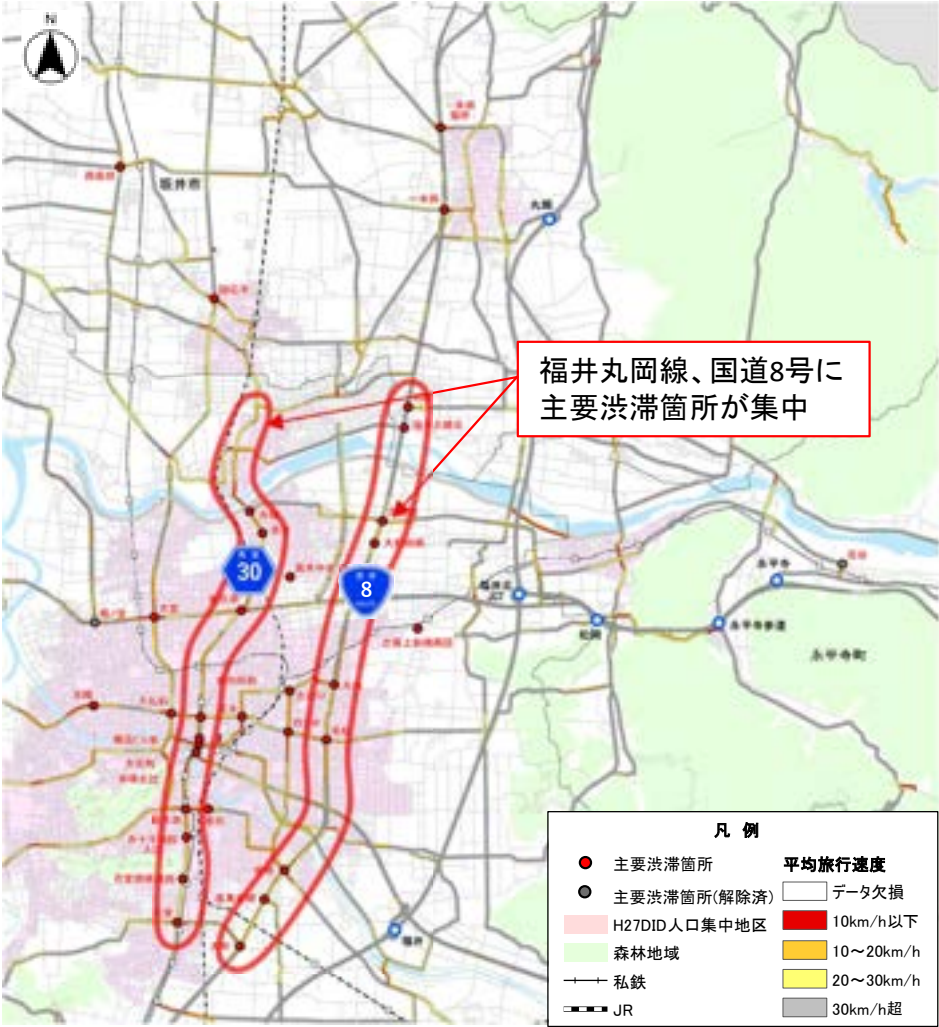
交通が集中しており、主要渋滞箇所が多く存在していることから、国道8号、福井丸岡線を重点路線に選定した。

■福井市中心部における断面交通量（昼間12時間交通量）



出典: 令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査

■福井市中心部における朝ピーク時(7-9時)の速度低下状況
(面的速度分析図、主要渋滞箇所分布)



出典: ETC2.0プローブデータ(R5.9~11 平日7~9時)
※R5.11.28~30についてはデータ欠損のため除外)

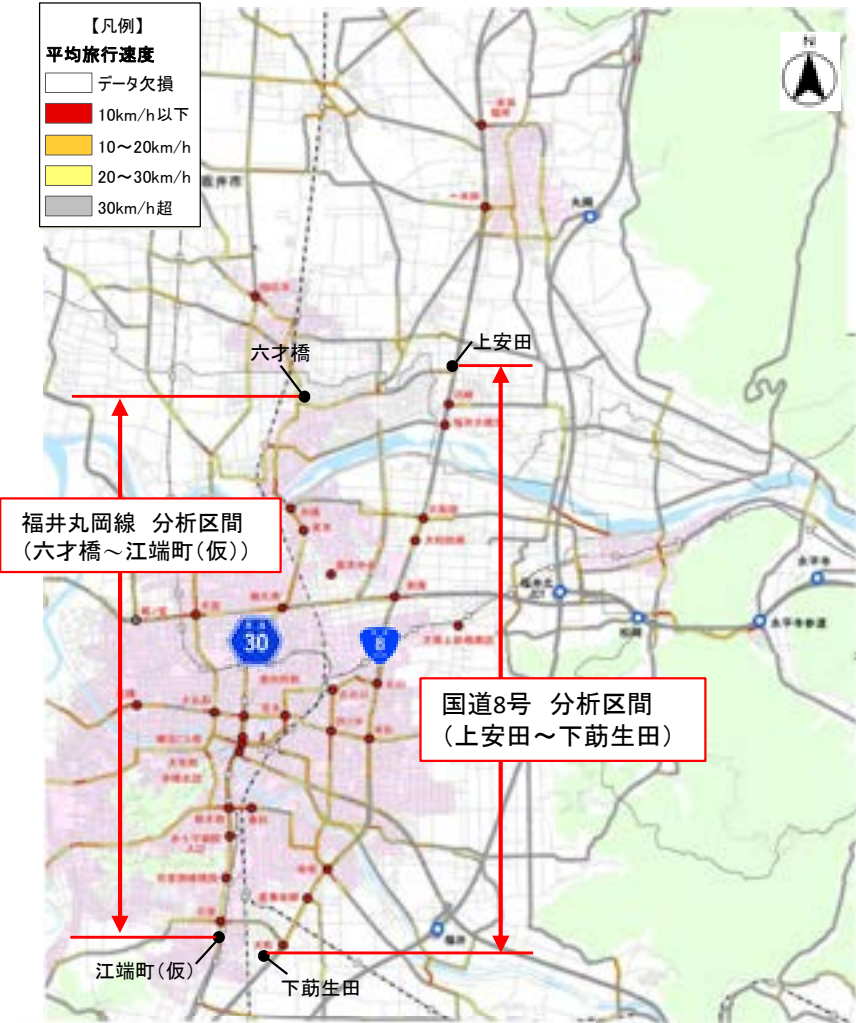
➡ 交通が集中しており、主要渋滞箇所が多い**国道8号、福井丸岡線**を重点路線に選定

4. 時間分散の検討

福井丸岡線(六才橋～江端町(仮))の所要時間は、8時前後で最大となり、7時に比べて最大19分多い。
国道8号(上安田～下筋生田)の所要時間は、7時30分～8時で最大となり、7時に比べて最大15分多い。
そこで混雑が激しく、所要時間が多くかかる、7時30分～8時30分を避けた時差通勤の呼びかけを検討する。

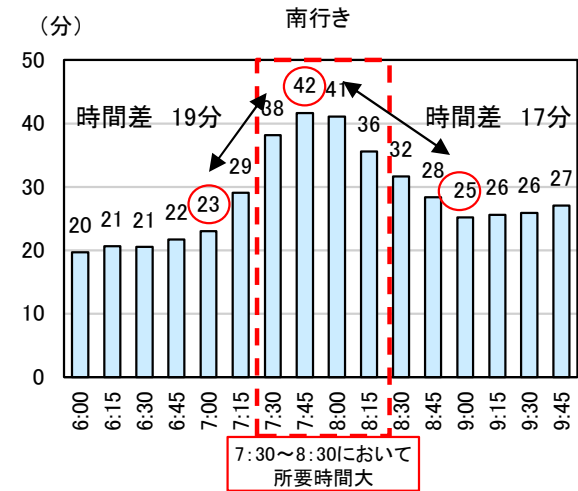
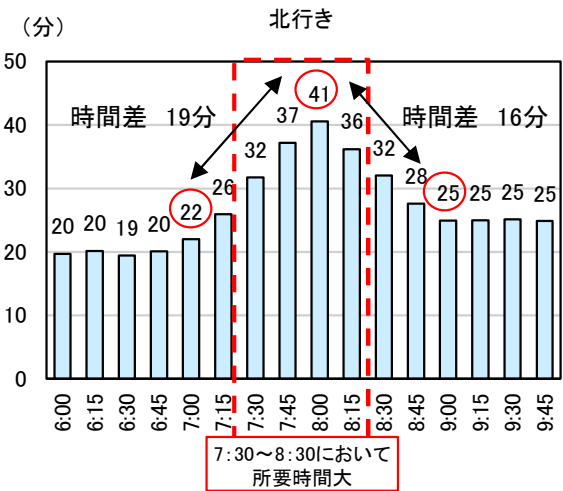
■福井丸岡線、国道8号における時間帯別の所要時間差

○位置図

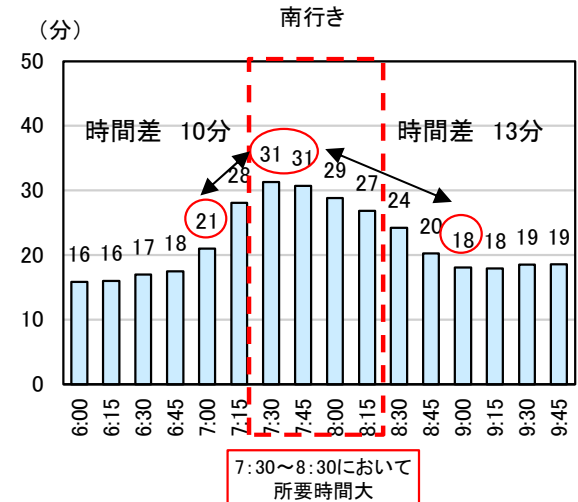
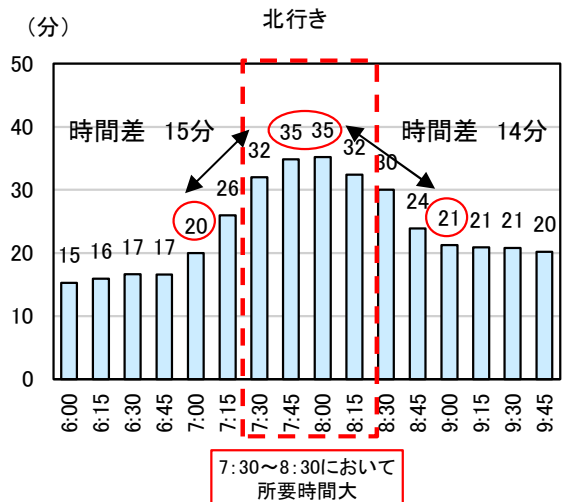


出典:ETC2.0プローブデータ(R5.9～11 平日7～9時)
※R5.11.28～30についてはデータ欠損のため除外

○福井丸岡線における時間帯別の所要時間差



○国道8号における時間帯別の所要時間差



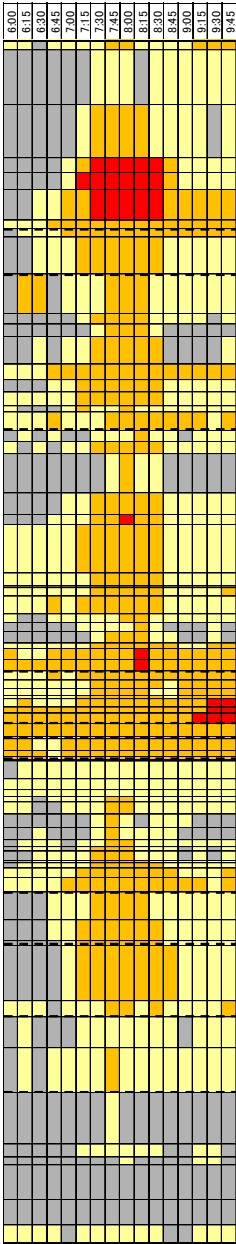
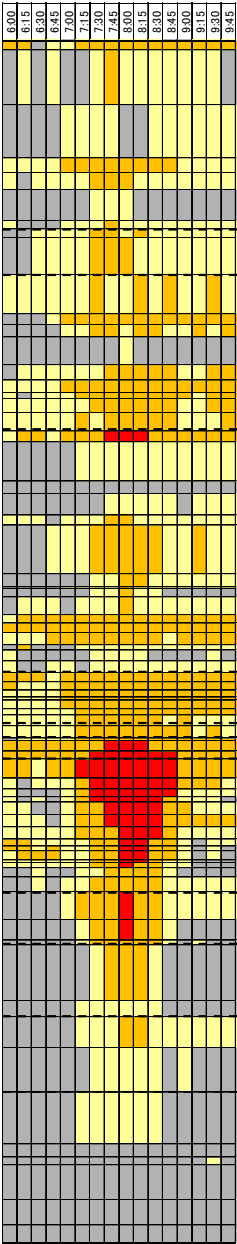
出典:ETC2.0プローブデータ(R5.9～11 平日) ※R5.11.28～30についてはデータ欠損のため除外

4. 時間分散の検討【参考】 福井丸岡線、国道8号の区間別・時間帯別速度

福井丸岡線

北行き

南行き



○位置図



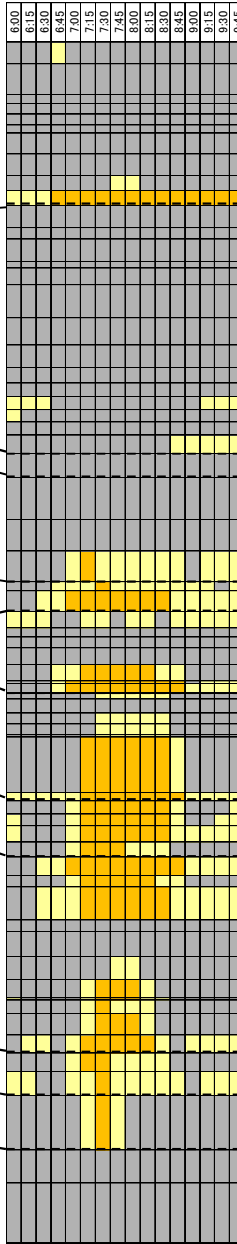
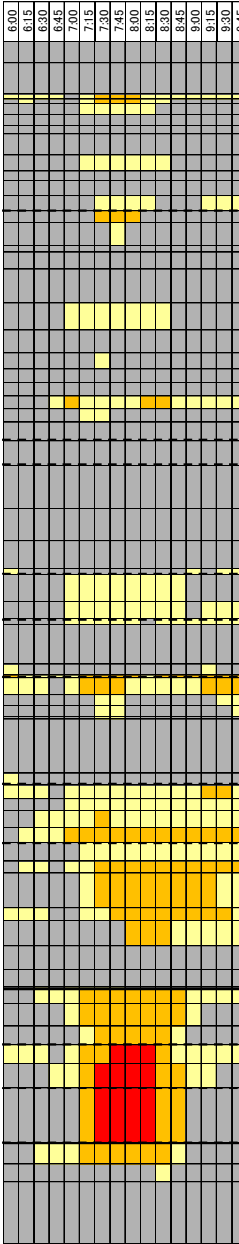
平均旅行速度(15分毎)

10km/h以下 10~20km/h 20~30km/h 30km/h超

国道8号

北行き

南行き



※集計対象期間: R5.9~11
※R5.11.28~30についてはデータ欠損のため除外

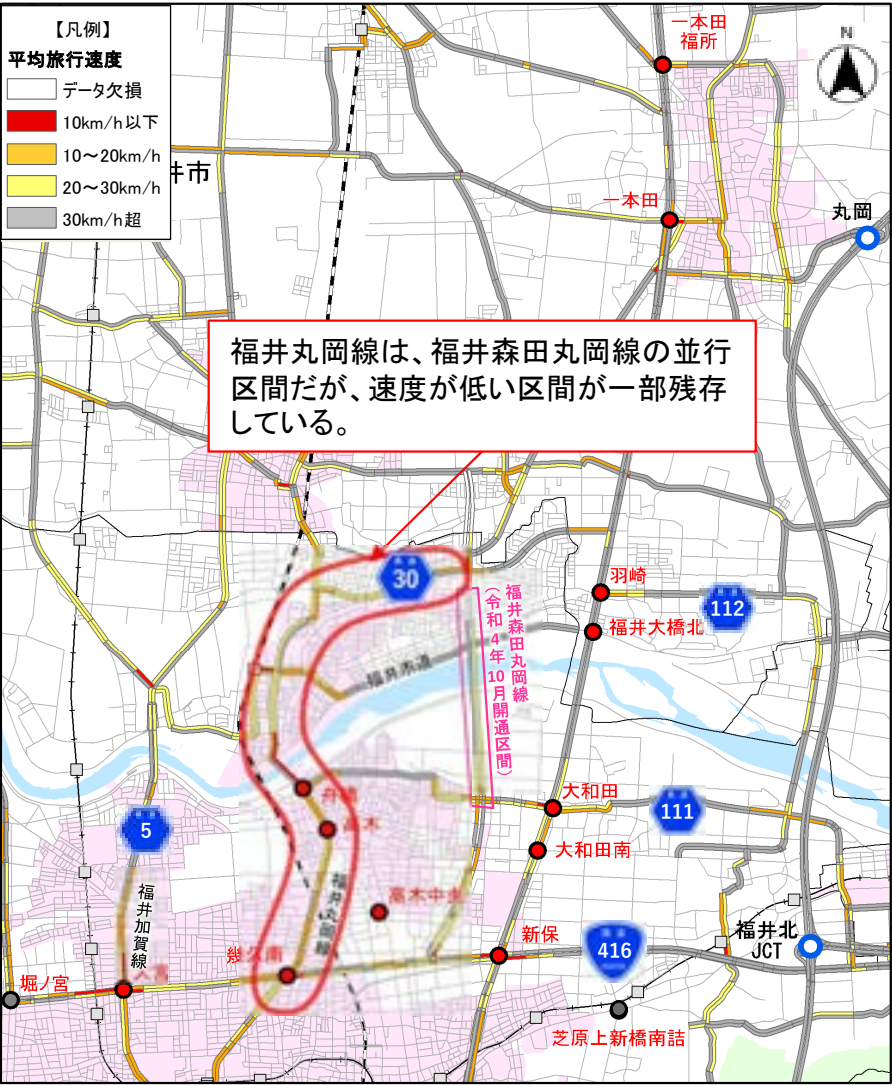
5. 経路転換の検討（福井森田丸岡線(R4.10部分開通)への転換）

福井森田丸岡線がR4.10に部分開通したが、福井丸岡線の並行区間については、速度が低い区間(20km/h以下)が一部残存している。

一方で、福井森田丸岡線と福井丸岡線の所要時間をみると、福井森田丸岡線は信号交差点が10箇所少ないため、朝夕ピークで3～5分の時間短縮ができ、転換先の道路として快適性・円滑性が確保されていると考えられる。

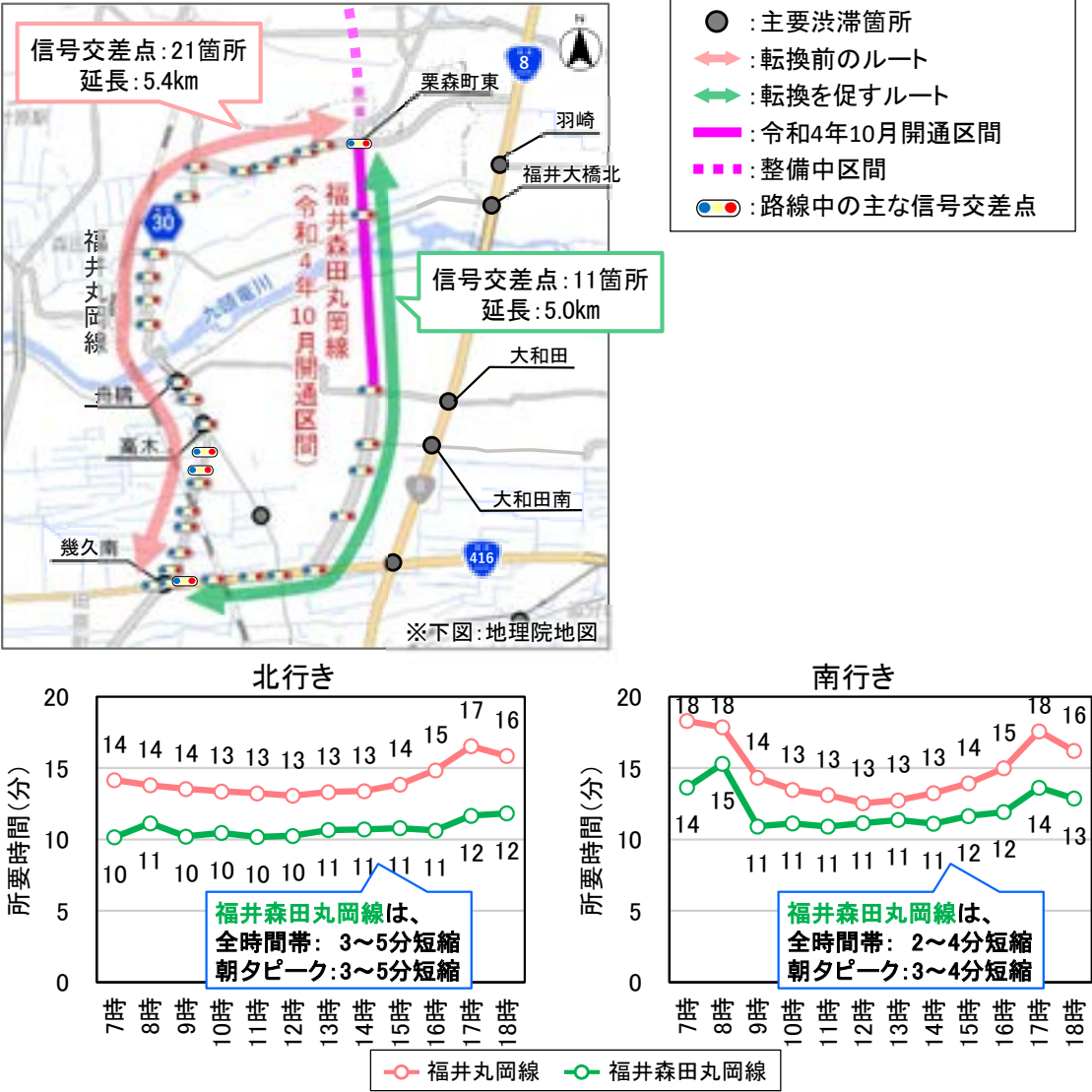
そこで、福井丸岡線から福井森田丸岡線への転換の呼びかけを検討する。

■福井森田丸岡線の並行路線における速度状況



出典:ETC2.0プローブデータ(R5.11 平日)
※R5.11.28～30についてはデータ欠損のため除外

■福井丸岡線、福井森田丸岡線の所要時間の比較(栗森町東～幾久南)



出典:ETC2.0プローブデータ(R5.11 平日)
※R5.11.28～30についてはデータ欠損のため除外

6. 今後の取組み

国道8号、福井丸岡線（福井市内中心部）を利用して、通勤している方、福井市内中心部の企業を対象とした、時間分散・経路転換の呼びかけを検討する。
呼びかけ実施にあたっては、チラシ、ポスター、SNS、道路情報板等の幅広い媒体の活用を想定する。
集中実施期間（10/21（月）～11/1（金））に向け、各種検討を進めていく。

■呼びかけ対象

国道8号、福井丸岡線（福井市内中心部）を利用して、通勤している方、福井市内中心部の企業

■呼びかけ内容

時間分散
7時30分～8時30分を避けた時差通勤の実施を呼びかける。

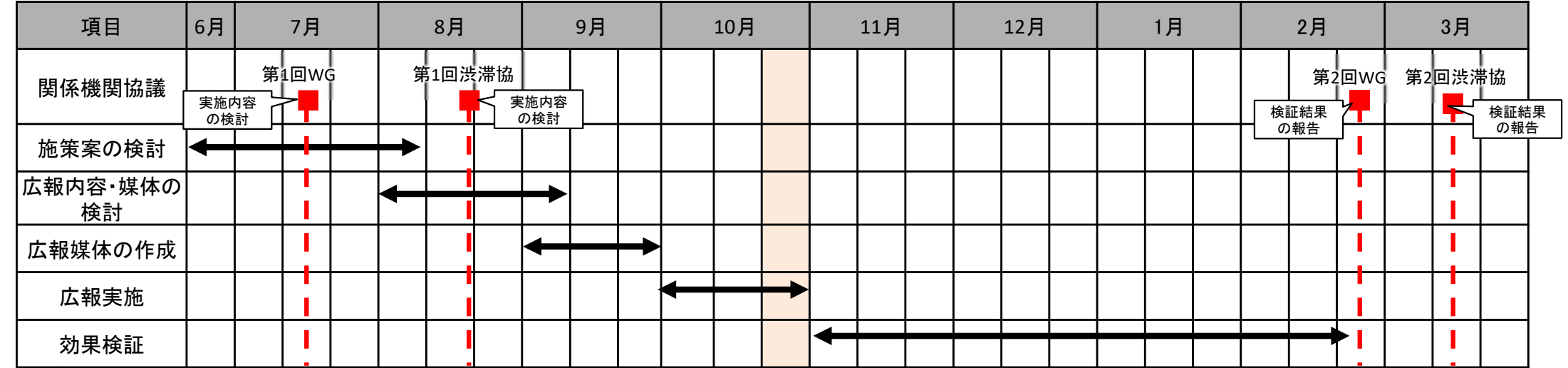
経路転換
福井森田丸岡線（R4.10部分開通）への転換を呼びかける。

■実施媒体（案）

項目	内容
チラシ	事務所および自治体のHP、SNS、LINEにて掲載を想定
ポスター	事務所および自治体のHP、SNS、LINEにて掲載を想定 また印刷物を事務所・役所へ掲載することを想定
自治体広報誌	福井県、福井市の広報誌への掲載を想定
記者発表	TDM実施期間中 事務所HP、SNSにて公開
道路情報板	集中実施期間に福井市内の国道上の道路情報板に呼びかけ情報を発信することを想定

■スケジュール案

集中実施期間
10/21（月）～11/1（金）



➡ 10月下旬の集中実施期間に向け、各種検討を進めていく。

6. 今後の取組み

広報のメイン媒体であるチラシについては、表面は、福井らしさ、インパクトを高めるデザインを採用した。(2案採用)
裏面にて、時差出勤、経路転換によるメリットをETC2.0による分析結果とともに紹介している。
事務所および自治体のHP、SNS、LINEにて掲載を想定する。

■ 表面

案1: 下界を見下ろす恐竜のつぶやき



案2: 恐竜(ドライバー)の思いつき



■ 裏面



表面は、福井らしさ、インパクトを高めるデザインを採用

裏面では、時差出勤、経路転換によるメリットを ETC2.0による分析結果とともに紹介